

18

美杉産の杉の間伐材を使った木工品作り

津市立橋北中学校



森のせんせいから木の話



大鋸（おが）で木挽き体験



けがきの様子



ノコギリ作業の実演



ノコギリ作業の体験



ねじ接合

ねらい

- ・ 県内の森林や林業の現状、森の働きと大切さ、県産材を使う意義と建築について学ぶ
- ・ 美杉産の杉の間伐材を使って木工品を作る

取組内容

1年生の技術科では、美杉産の杉の間伐材の一枚板、厚さ15mm、幅210mm、長さ1200mmの小節のものを使って授業を進めています。夏休みまでに設計を進め、等角図で自分の考えたものを構想図に表しました。二学期に入り、けがき（加工するための下書線引き）と、ノコギリ引きを2時間程度行った後に、出前授業を受けました。

講話では美杉産の木を使って家づくりをしていることや古民家再生に尽力していることを通して、間伐や森を大切にすることの必要性を話されました。また、丸太を大鋸（おが）で切る貴重な体験ができました。そのあと、けがきの仕方やノコギリ引きの仕方、ヤスリがけの仕方など、わかりやすく実演を交えた授業を受けました。ノコギリ引きでは、切り初めに押して切り込みを入れることや真上から線を見ながら切ること、線が切りくずで見えないときは、口で切りくずを吹きながら切るなどコツを教わり、そのあと実際に個別指導を受けました。

内 容	木材の話と木工
時 間	1 時間（6回）（技術科）
場 所	木工室
対 象	1 年生 227 人
講 師	森のせんせい：高橋一浩氏
備 考	みえ森づくりサポートセンターによる森林環境教育・木育出前授業

【先生のコメント】 子どもたちは、出前授業を受けて、大工さんの話と実演に感動し、自分の製作意欲の向上につなげています。教えてもらった技術や心持を大切に、素敵な作品が完成できるよう尽力しています。